

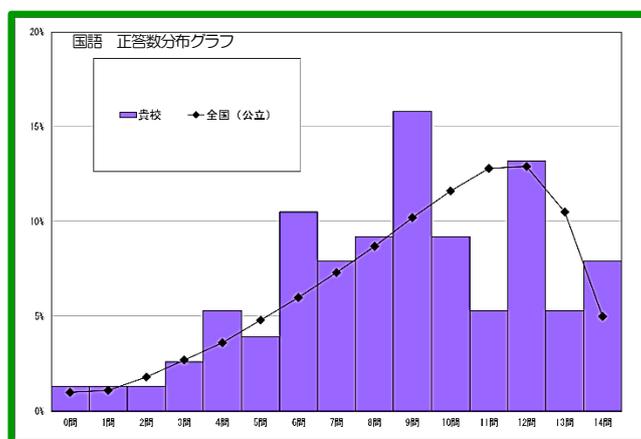
# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

保護者・地域の皆様には日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、4月に6年生を対象に実施しました、全国学力・学習状況調査の本校の結果と分析についてお知らせします。この調査は、全国的な児童生徒の学力並びに学習状況を把握し、今後の学習指導に役立てることを目的として行っています。本校もそれを踏まえ、調査結果を学力向上の取組に生かしています。

## 1. 平均正答率の結果（全国平均の比較で）

	全国平均との比較
国語	やや低い
算数	同程度
理科	同程度

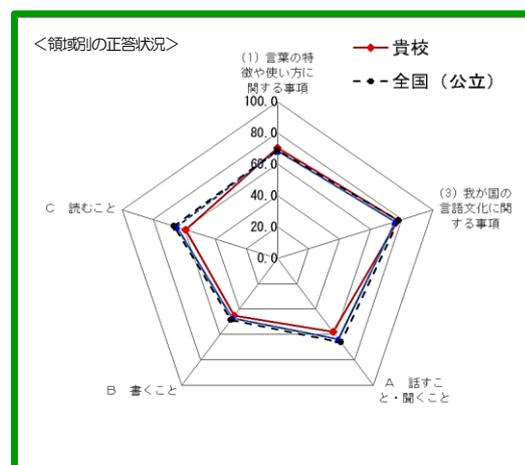


## 2. 教科ごとの結果・分析（全国平均の比較で）

領域	全国平均との比較
話す・聞く	下回っている
書く	やや下回っている
読む	下回っている
言語事項	同程度

国語

問題形式	全国との比較	無解答率
選択式	やや下回っている	0.0%
短答式	上回っている	2.6%
記述式	下回っている	5.7%

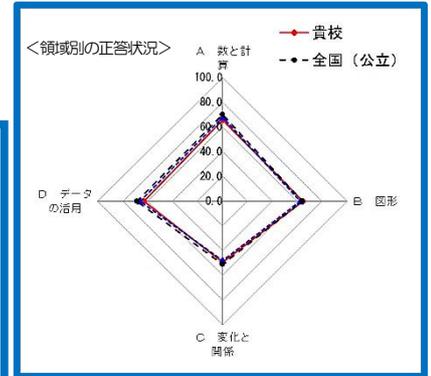
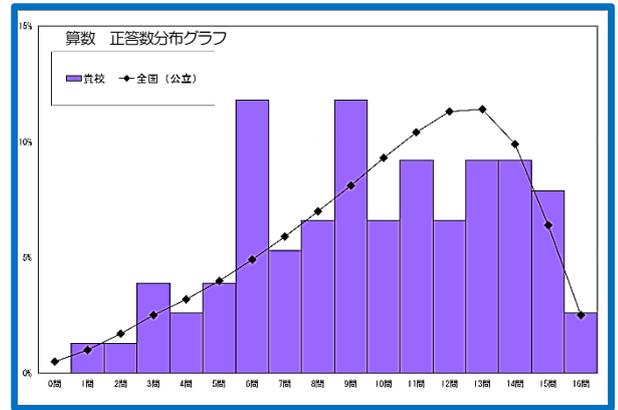


- ★国語全体として・・・全国平均よりもやや低い結果となりました。
- ★正答数別人数から・・・14問中8問以上正答している児童は約66%。中位が多く高位が少ない傾向にあります。
- ★領域（「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」）別に見ると・・・
  - ・「言語事項」は全国と同程度です。漢字に関しては全国よりも読んだり書けたりできています。
  - ・「話す・聞く」「書く」「読む」は全国を下回っています。特に、「記述式」問題の正答率が低いです。答えるための条件に合わせながら、自分の考えをまとめて書いたり、目的や意図に応じて要約したりすることを苦手としています。
- ★問題形式で見ると・・・「短答式」（漢字の読み・書き）で全国を上回っていますが、「選択式」「記述式」は全国を下回っています。記述して答えることを苦手としています。
- ★無解答率で見ると・・・3つの問題形式とも全国より低かったです。特に「選択式」の無解答率は0.0%で、全員が答えを書いたこととなります。あきらめずに問題に向き合い、答えを導き出したことがうかがえます。本校に限ったことではありませんが、「記述式」の問題に対しては、無解答率が高くなる傾向にあります。

算数

領域	全国平均との比較
数と計算	やや下回っている
図形	同程度
変化と関係	同程度
データの活用	下回っている

問題形式	全国平均との比較	無解答率
選択式	同程度	0.4%
短答式	やや下回っている	1.7%
記述式	同程度	3.0%



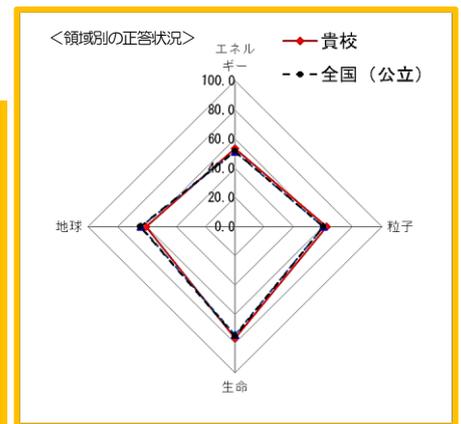
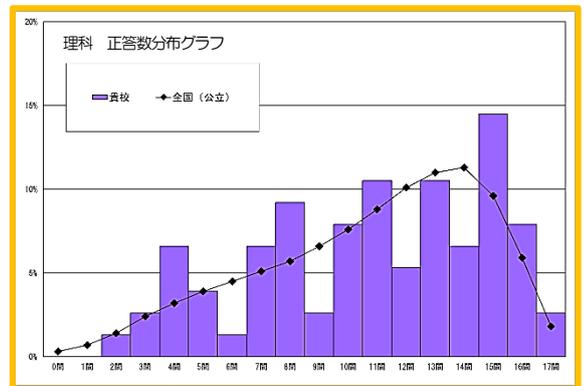
- ★算数全体として・・・全国と同程度の結果となりました。
- ★正答数別人数から・・・16問中10問以上正答している児童は約51%。低～中位が多い傾向にあります。
- ★領域（「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」）別に見ると・・・
  - ・「図形」「変化と関係」は全国と同程度でした。
  - ・「数と計算」と「データの活用」は全国を下回っています。「数と計算」では、「二つの数の最小公倍数を求める」（短答式）、「目的に合った概数の処理の仕方」（記述式）の正答率が全国よりも低く、「データの活用」では、「分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように遊びを選ぶ」（選択式）の正答率が全国より低い結果となりました。

- ★問題形式で見ると・・・「選択式」と「記述式」は全国と同程度で、「短答式」は全国をやや下回りました。
- ★無解答率で見ると・・・3つの問題形式とも全国よりも低かったです。算数でもあきらめずに取り組んだことがうかがえます。「記述式」の無解答率は3%で、他の2つの問題形式よりも高くなっていますが、国語よりも書き表すことができています。

理科

領域	全国平均との比較
「エネルギー」を柱とする領域	同程度
「粒子」を柱とする領域	同程度
「生命」を柱とする領域	同程度
「地球」を柱とする領域	やや下回っている

問題形式	全国平均との比較	無解答率
選択式	同程度	0.1%
短答式	やや上回っている	1.3%
記述式	同程度	1.3%



- ★理科全体として・・・全国平均と同程度の結果となりました。
- ★正答数別人数から・・・17問中10問以上正答している児童は約66%。低位・高位の児童が多い傾向にあります。
- ★領域（「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域）別に見ると・・・
  - ・「エネルギー」「粒子」「生命」を柱とする領域は全国と同程度です。
  - ・「地球」を柱とする領域は全国を下回っています。特に、「結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ」（選択式）の正答率が全国よりも低い結果となりました。

- ★問題形式で見ると・・・「短答式」で全国をやや上回っていますが、「選択式」「記述式」は同程度です。
- ★無解答率で見ると・・・3つの問題形式とも全国よりも低かったです。あきらめずに問題に向き合い、答えを導き出したことがうかがえます。「記述式」の問題に対しても無解答率はそれほど高くありません。

### 3. 児童質問紙の結果から

- 自分にはよいところがあると思っている子の割合は約80%。全国平均よりも高い。
  - 自分にはよいところがあまりない・ないと思っている子は20%。
    - 「当てはまる」と答えた子の割合が昨年度より大きく減少(40.8%→28.9%)。
- 将来の夢や目標をもっている子が約85%以上いる。
- 国語の勉強が好きな子～約53% 算数の勉強が好きな子～約66% 理科の勉強が好きな子～約91%
  - 国語や算数が好きではない子が半数近くいる。
- 約8割の子が学校に行くのが楽しいと思っている。
  - 学校に行くのが楽しくないと思っている子が2割いる。
- 平日、ゲームを2時間以上している子が54%いる。
- 平日、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴を2時間以上する子が約37%いる。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束がない子が約13%いる。
- 平日に1日当たり2時間以上学習している子の割合は約20%(全国が約25%)。1時間以上2時間未満が最も多く、約51%。
- 休みの日に学習する時間は、平日と同じで1時間以上2時間未満が最も多く、約33%。次いで多いのが1時間未満で約29%。全くしない子もいる。3時間以上学習する子の割合は全国とほぼ同じ。



- ・自己有用感は依然として高い傾向にありますが、2割の子は低い状況にあります。今後も「わたしっていいな! きみってすごい!」を全校で進めていきます。
- ・学校での活動を楽しみにしており、友達と協力しながら生活していると考えられます。
- ・将来の夢や目標を多くの子がもち、学習に励んでいます。国語や算数が好きではない子が多くいるという状況にあります。これからもわかりやすい授業づくりを目指していきます。
- ・家庭での学習時間は、1時間から2時間未満の児童が多くいます。休日だと学習する時間が少ない傾向にあります。中学校へ進学するにあたり、休日をうまく活用して学習するようになると、さらに力が付いていくと考えられます。
- ・ゲームや携帯電話・スマートフォン、コンピュータを使う時間や約束などは、家庭の協力が必要なところです。子どもたちが落ち着いて学校生活を送れるよう、家庭と連携をとっていきたいと考えています。

### 4. 今後の学力向上に向けて

#### ○学習に向かう基本的な姿勢を育てます

- ・学習ルールやノート指導の一層の定着を図り、学習する意欲を喚起します。
- ・夏休み明けから導入された「一人一台端末」を効果的に活用していきます。

#### ○書く力を高めていきます

- ・授業中は、まとめの文章を書いたり、学習の振り返りを書いたりするなど、書き表す経験を積ませます。
- ・水曜日のSタイムを「パワーアップタイム」とし、引き続き全校一斉に「視写」に取り組みます。

#### ○算数における基礎的・基本的な学力の定着を図ります

- ・算数の授業では、習熟の時間を充実させることで、繰り返し学習させます。

#### ○無解答をゼロにします

- ・あきらめないで問題に向かおうとする気持ちを育てるとともに、基礎的・基本的な学力を定着させることによってあらゆる問題に対応できる力を育てます。

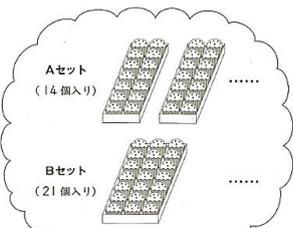
#### ○家庭との連携を大切にします

- ・家庭と連携し、規則正しい生活習慣づくりに努めます。
- ・家庭学習の充実を図る取り組みを行います。～家庭学習の表彰・「パワーアップウィーク」の取り組み
- ・学力向上通信「パワーアップ」を発行し、家庭と学校との連携を図ります。



1 【算数】

まず、あいりさんは、AセットとBセットをそれぞれ何箱か買ったとして、考えることにしました。

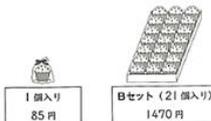


カップケーキの個数を、14と21の最小公倍数にそろえて考えます。

14と21の最小公倍数を書きましよう。

「二つの数の最小公倍数を求め」問題です。正答率は約60%で、全国の正答率よりも10%以上低い結果でした。正答は42ですが、最大公約数である7と解答している子や公倍数は見付けられていても、最小の数を選べていない子が多くいました。

(4) カップケーキが1個入り85円でも売られていた。くらみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット1箱分の値段で、1470円を比べることにしました。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、85×21で求めることができます。

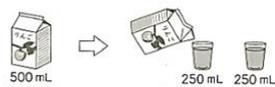
85×21の答えが1470より必ず大きくなることは、85×21をそのまま計算せず、85と21を小さい数にして計算してもわかります。

85×21の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのように小さい数にして計算するといですか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア 85を小さくして80、21を小さくして20として計算します。
- イ 85を小さくして80、21を大きくして30として計算します。
- ウ 85を大きくして90、21を小さくして20として計算します。
- エ 85を大きくして90、21を大きくして30として計算します。

「目的に合った数の処理の仕方を考える」問題です。正答はアですが、概数なのでとにかく一の位の数を四捨五入して考えればよいと考えた、ウという誤答が多かったです。数の大きさを見積もる必要があるときは、場合に応じて数を大きくみたり小さくみたりして概算することが理解できていないことがわかります。正答率は約33%で、全国と同様でした。

2



250 mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまよめます。

250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。  
このとき、

上のアにあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

(4) かいとさんは、果汁の割合と果汁の量がわかっていて、飲み物の量を求めることができるかどうかを考えています。そこで、りんごの果汁の割合が30%で、果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることにしました。

果汁が30%ということは、果汁が30 mLのとき、飲み物の量は100 mLですね。  
そうですね。私は、果汁の量から飲み物の量を求めるために、表にまよめました。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

上の表を見て、かいとさんは、次のことに気づきました。

果汁の量が2倍、3倍になると、それにもなって飲み物の量も2倍、3倍になることがわかりました。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

ゆうかさんは、かいとさんが気づいたことをもとに、次のように考えました。

下の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

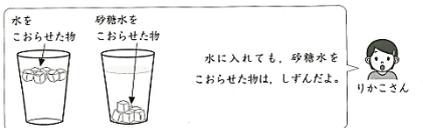
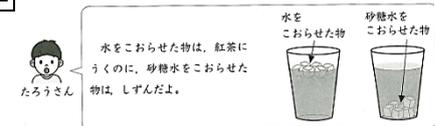
果汁の量が180 mLのときの飲み物の量は、何 mLになりますか。180 mLが30 mLの何倍かをどのように求めたかがわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましよう。また、答えも書きましよう。

「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題です。果汁の量180 mLが30 mLの6倍であることは記述できていても、比例の関係を用いて果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることを説明する言葉「果汁の量が6倍になると飲み物の量も6倍になるので」が記述できていない答えが多く見られました。正答率は約43%でした。

「数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる」問題です。正答率は約24%で、全ての問題の中で一番正答率が低い問題でした。正答は3ですが、飲み物の量が半分になると果汁の割合も半分になると考えた、1という誤答が多かったです。右上の概数の問題もそうですが、日常生活の具体的な場面に対応させて学習していくことが大事だと言えます。

【理科】 2

(4) 砂糖水をこおらせた物は、紅茶に入れるとじずみました。



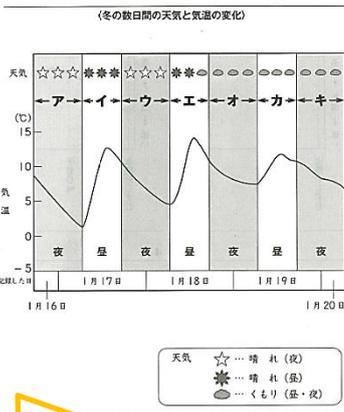
はるとさんは、砂糖水をこおらせた物だから、水にじずんだのかな。砂糖水ではない、ほかの水よう液をこおらせた物でも試してみたいね。

はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つけました。はるとさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましよう。

「自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる」問題です。正答率は約35%でした。全国の正答率よりもやや低い結果でした。問題の文章になっていなかったり、水溶液を凍らせていない物を対象としていたりという誤答が多かったです。

4

よしこさんは、冬の数日間の天気と気温を観測したり、インターネットで調べたりして、下のよう整理しました。

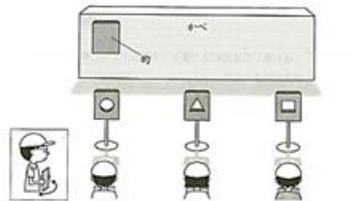


(3) よしこさんは、【問題】「冬の夜の気温は、どのように変化するか」について、「(冬の数日間の天気と気温の変化)」からいえることを、次のようにまよめました。

- 【結果からいえること】
- ① 冬の晴れた夜は、気温が下がる。
  - ② 冬のくもった夜は、気温が下がる。
  - ③ 冬の晴れた夜の気温は、7℃ぐらい下がり、冬のくもった夜の気温は、3℃ぐらい下がる。
- これらのことから、冬の夜の気温は、下がり続け、冬の晴れた夜は、冬のくもった夜よりも気温の変化が大きいといえる。

上の【結果からいえること】の①は、「(冬の数日間の天気と気温の変化)」のどの部分をもとに、まよめていますか。左の ア から キ までの中からすべて選んで、その記号を書きましよう。

3 たかしさんは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光を反射して、筒あてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、筒材、三角板、紙角材に切り出した、筒と同じ大きさの鏡1枚の鏡を書きましました。

(1) 3人がよの図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をばねして、3つの鏡ゴールの鏡にあてたときに、かべの穴にある筒に、三角板の影をあてることのできるはだけですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かづやさん
- 4 全員

「観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる」問題です。正答率は約39%で、全国の正答率よりもやや低い結果でした。晴れた夜だけではなく曇った夜の場合も選んでしまっている誤答が多かったです。

「日光は直進することを理解しているかどうかをみる」問題です。正答率は約32%でした。全国の正答率よりもやや高い結果となりました。正答は3ですが、2と答えた子が多かったです。日光が直進することへの理解が足りなかったり、三角形に切り抜いた段ボールの板によって光が曲がると捉えたりしていることが考えられます。